

# 誰もが旅もスポーツも楽しめる社会へ パラスポーツを通じてユニバーサル ツーリズムの文化を醸成

選手の移動、宿泊、食事……。スポーツイベントの裏側には、必要なことがたくさんある。近畿日本ツーリストグループは旅行業という立場から、様々なパラスポーツをサポートすることで、ユニバーサルツーリズムの普及にも力を入れている。



世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPO ジャパン」にて

## 近畿日本ツーリストグループ



体験会・講習会



協賛



技術支援・  
製品開発

### 企業情報

#### 近畿日本ツーリストグループ

【担当部署】スポーツ事業推進部 総務広報部(広報)

【所属人数】スポーツ事業推進部18名

総務広報部(広報)6名

【住所】東京都新宿区西新宿2-6-1(新宿住友ビル40F)

【電話】03-6863-0048

【URL】<https://www.knt.co.jp/>



### 旅を通じてパラスポーツをサポートする

「これまで当社は2018年の平昌冬季パラリンピックにて日本代表選手団の輸送をサポートするなど、その経験を活かして様々なスポーツやイベントの運営に携わってきました。今後も、“旅”や“移動”の面で大会やパラアスリートをサポートしていきます。」と、語るのはスポーツ事業推進部の村澤雅弘課長。



村澤課長

これは当社が推進してきた「ユニバーサルツーリズム」への取組の一環でもある。当社では、誰もが旅行を楽しめ

る社会の実現を目指してきた。

例えば、プロのドライバーが講師となり、サーキット場で乗用車を運転する視覚障がいのある方向けのツアー、車いすのまま乗れる人力車を使ったツアーなど、新しい企画も次々と生まれている。



視覚障がい者 夢の自動車運転ツアー

また、当社は日本ボッチャ協会に協賛していて、国内初のボッチャ国際大会となるBISFed 2018アジア・オセアニア地区オープン「BISFed 2018 ISE Regional Open」では大会運営に参画、全国特別支援学校ボッチャ大会(通称「ボッチャ甲子園」)では全国から来場するチームの宿泊を手配するなど、幅広くサポートしている。



2018年3月に伊勢市で開催された国内初のボッチャ国際大会  
(画像提供:日本ボッチャ協会)

「ボッチャに深く関わることで、競技大会の運営や選手のお世話、宿泊の環境などについて勉強しています。並行して社内で体験イベントを開催するなど、実際にそのスポーツに触れることで浸透を図っています。」と、第5営業支店の渡邊敏郎専任課長は語る。



渡邊専任課長

### 実際に“触れる”ことでマインドを育てる

さらに、当社では従業員にユニバーサルマナー検定の受講を推進したり、ボランティアとしてサッカークリニックに参加したり、社内でボッチャ大会を開催するなど、自分たちで体験することで、理解の下地を作っている。ユニバーサルツーリズムの推進では、実際のツアーで学ぶ機会を設けて、社員の育成を行っている。その地道な取組が事業につながるケースもある。

「パラスポーツを振興するためには、実際に“触れてみる”ことがスタートだと感じています。目の不自由な方や車いすを利用されている方の気持ちの相互理解にもなりますし、お困りの際にお声がけする“気づき”のきっかけにもなるでしょう。当社では触れる・感じる・体験することからパラスポーツへの関心を高め、知見を広め、貢献できる社員の育成につなげています。」と、総務広報部の渡辺貴光氏は語る。



渡辺氏

同社が、ボッチャの国際大会や平昌パラリンピックにおいて、輸送・宿泊・食事などを大会運営に支障なく進めることができた体験は、社内のナレッジ蓄積にも役立っている。

### 東京2020大会の先に根付く、 パラスポーツ文化

「ロンドンパラリンピックが成功したのは、子どもたちにまでパラスポーツの知識や体験を提供していたからです。東京2020大会で良い結果を出して、そこに関わった人たちの中に知識や体験が残って、それを次のイベントにつないでいく。そこに期待しています。日本に初めてスポーツボランティアが浸透するきっかけにもなると思います。この精神を旅行という枠組みにも発展させていくのが、当社の目標です。観光庁が推進する観光におけるユニバーサルデザイン化の促進で実装する施設が増えれば、車いすの観光客も増えるでしょう。ユニバーサルツーリズムは当たり前になりつつあります。2025年の大阪万博にも活かしていきたいです。」(村澤課長)

### コロナ禍における取組・今後の方向性

パラスポーツはパラリンピックで終わるわけではないので、人々の中でパラスポーツの認知が広がり、ユニバーサル精神が文化として根付く“レガシー”(後世に残せる成果)をTEAM BEYONDとも2020年以降もパートナーとして作っていききたい。